

福岡市公報 第7078号（別冊）

令和5年度 下半期

# 業務状況の説明

（公営企業会計）



福岡市モーターボート競走事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和5年度下半期（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）における本市モーターボート競走事業の業務状況を次のように公表する。

令和6年8月22日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市モーターボート競走事業の令和5年度下半期の業務状況  
(第16回公表)

目 次

	ページ
1 概 況 .....	1
2 事業報告書 .....	2
3 損益計算書 .....	3
4 貸借対照表 .....	3
5 企業債及び一時借入金の現在高 .....	3

1 概況

令和5年度下半期の開催日数は83日（前年同期比9日減）、入場者数が163,936人（1日平均1,975人）で、前年度同期と比べ5.1パーセントの減（1日平均5.2パーセントの増）となっております。

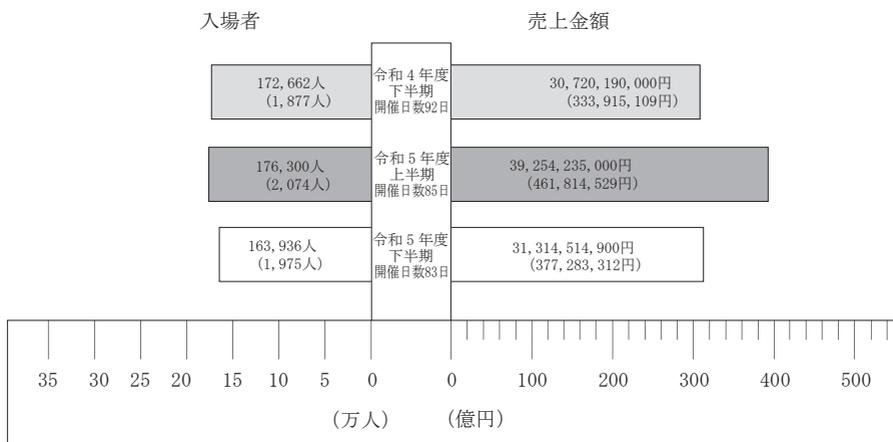
売上金額は、31,314,514,900円（1日平均377,283,312円）で、前年度同期と比べ1.9パーセントの増（1日平均13.0パーセントの増）となっております。

令和5年度下半期については、前年同期と比べ開催日数は減少しているものの、ボートレース福岡開設70周年記念競走の開催などにより、1日平均の入場者数ならびに売上金額は増加しております。

また、場間場外発売については、場内売上が1,734,965,900円、外向発売所（ペラボート福岡）売上が5,988,933,600円、合計7,723,899,500円で、前年度同期と比べ9.5パーセントの増となっております。

## 2 事業報告書

入場者及び売上金額 ( ) は1日平均



3 損益計算書（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	34,931,569
営業収益	34,903,067
営業外収益	28,502
総 費 用 (B)	35,337,181
営業費用	34,472,289
営業外費用	864,892
差引損益(A)－(B)	△ 405,612

4 貸借対照表（令和6年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	23,018,283	固定負債	348,890
流動資産	22,999,702	流動負債	1,795,803
		繰延収益	338,997
		資本金	27,247,785
		剰余金	16,286,510
計	46,017,985	計	46,017,985

5 企業債及び一時借入金の現在高（令和6年3月31日現在）

(1) 企業債の現在高

なし

(2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市下水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和5年度下半期（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）における本市下水道事業の業務状況を次のように公表する。

令和6年8月22日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

## 福岡市下水道事業の令和5年度下半期の業務状況

(第76回公表)

### 目 次

	ページ
1 概 況	4
2 事業報告書	4
3 損益計算書	5
4 貸借対照表	5
5 企業債及び一時借入金の現在高	5

### 1 概況

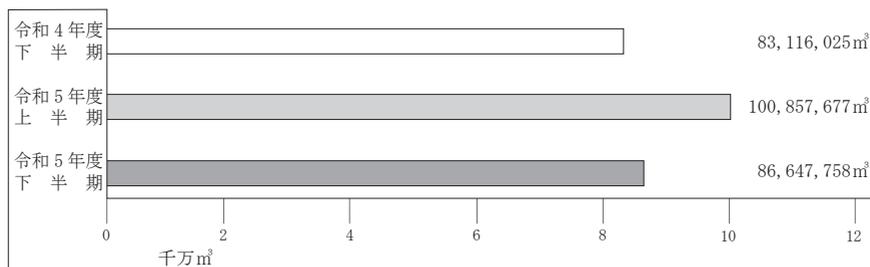
下水道事業では、令和5年度下半期もアセットマネジメントに基づく改築更新を最重点として事業を実施してまいりました。また、重点地区を定め雨水対策を行う「雨水整備Dプラン2026」及び雨水対策を強化した「レインボープラン天神」に基づく整備を推進するとともに、下水道施設の耐震化も進めてまいりました。

また、公共用水域の水質保全のため、合流式下水道の改善（分流化）などを進めるとともに、下水道資源の有効利用や再生水利用下水道事業を推進してまいりました。

今後とも、市民の皆様が下水道サービスを安定的・継続的に利用でき、快適で安心して暮らせますよう、適正かつ効率的な事業運営に取り組んでまいります。

### 2 事業報告書

#### 処理水量



※場内循環水を含む。

### 3 損益計算書（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	27,150,516
営 業 収 益	21,329,014
営 業 外 収 益	5,792,606
特 別 利 益	28,896
総 費 用 (B)	26,103,082
営 業 費 用	23,984,337
営 業 外 費 用	2,113,611
特 別 損 失	5,134
差引損益(A)－(B)	1,047,434

### 4 貸借対照表（令和6年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	758,237,867	固定負債	290,268,357
流動資産	31,359,112	流動負債	40,645,667
		繰延収益	212,286,604
		資本金	170,557,805
		剰余金	75,838,546
計	789,596,979	計	789,596,979

### 5 企業債及び一時借入金の現在高（令和6年3月31日現在）

#### (1) 企業債の現在高

（単位：百万円）

令 和 5 年 度 上半期末現在高	令和5年度下半期		令 和 5 年 度 末 現 在 高
	発 行 額	償 還 額	
312,504	18,390	18,230	312,664

#### (2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和5年度下半期（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）における本市水道事業の業務状況を次のように公表する。

令和6年8月22日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市水道事業の令和5年度下半期の業務状況  
(第143回公表)

目 次

	ページ
1 概 況 .....	6
2 事業報告書 .....	7
3 損益計算書 .....	8
4 貸借対照表 .....	8
5 企業債及び一時借入金の現在高 .....	8

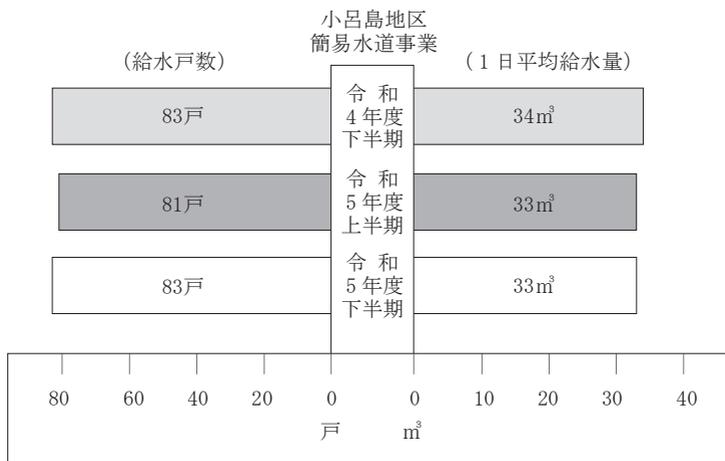
1 概況

令和5年度下半期も「福岡市水道長期ビジョン2028」に基づく水の安定供給に向けた計画的な施設整備等の各施策を着実に実施してまいりました。

今後とも、「みなさまから信頼される水道」の実現に向け、安全で良質な水の安定供給に努めるとともに、企業債残高の縮減など、経営の効率化と財政の健全化に取り組んでまいります。

## 2 事業報告書

### 給水状況



### 3 損益計算書 (令和5年10月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

区 分	金 額
総 収 益 (A)	18,665,695
営 業 収 益	16,241,329
営 業 外 収 益	2,423,876
特 別 利 益	490
総 費 用 (B)	17,189,508
営 業 費 用	16,490,428
営 業 外 費 用	695,915
特 別 損 失	3,165
差引損益(A)－(B)	1,476,187

### 4 貸借対照表 (令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	379,419,466	固定負債	101,941,513
流動資産	25,695,483	流動負債	17,985,194
		繰延収益	61,285,365
		資本金	212,215,820
		剰余金	11,687,057
計	405,114,949	計	405,114,949

### 5 企業債及び一時借入金の現在高 (令和6年3月31日現在)

#### (1) 企業債の現在高

(単位：百万円)

令和5年度 上半期末現在高	令和5年度下半期		令和5年度末 現在高
	発 行 額	償 還 額	
100,980	7,435	3,798	104,617

#### (2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市水道事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和5年度下半期（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）における本市工業用水道事業の業務状況を次のように公表する。

令和6年8月22日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市工業用水道事業の令和5年度下半期の業務状況  
(第118回公表)

目 次

	ページ
1 概 況 .....	9
2 事業報告書 .....	9
3 損益計算書 .....	10
4 貸借対照表 .....	10
5 企業債及び一時借入金の現在高 .....	10

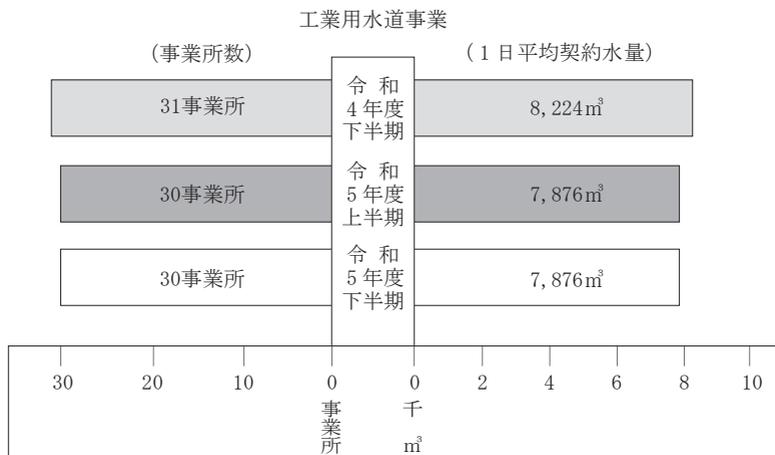
1 概況

令和5年度下半期も「福岡市工業用水道長期ビジョン2028」に基づく安定供給と安定経営の持続に向けた各施策を着実に実施してまいりました。

今後とも、「産業と暮らしを支える工業用水道を次世代へ」健全な形で確実に引き継いでいけるよう、各施策を着実に実施してまいります。

2 事業報告書

給水状況



### 3 損益計算書（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）

（単位：千円）

区 分	金 額
総 収 益 (A)	106,839
営業収益	100,793
営業外収益	6,046
総 費 用 (B)	186,611
営業費用	180,001
営業外費用	6,610
差引損益(A)－(B)	△ 79,772

### 4 貸借対照表（令和6年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	3,438,643	固定負債	2,562,837
流動資産	637,650	流動負債	109,084
		繰延収益	352,119
		資本金	578,167
		剰余金	474,086
計	4,076,293	計	4,076,293

### 5 企業債及び一時借入金の現在高（令和6年3月31日現在）

#### (1) 企業債の現在高

（単位：百万円）

令和5年度 上半期末現在高	令和5年度下半期		令和5年度末 現在高
	発行額	償還額	
2,561	138	99	2,600

#### (2) 一時借入金の現在高

なし

福岡市交通事業の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、令和5年度下半期（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）における本市高速鉄道事業の業務状況を次のように公表する。

令和6年8月22日

福岡市長 高 島 宗 一 郎

福岡市高速鉄道事業の令和5年度下半期の業務状況  
(第100回公表)

目 次

	ページ
1 概 況 .....	11
2 事 業 報 告 書 .....	12
3 損 益 計 算 書 .....	12
4 貸 借 対 照 表 .....	13
5 企業債及び一時借入金の現在高 .....	13

## 1 概況

令和5年度下半期における輸送人員は、定期の利用者が40,613,340人（1日平均221,931人）、定期外の利用者が48,521,789人（1日平均265,147人）の計89,135,129人（1日平均487,078人）で、前年度同期と比べ、13,890,429人（18.46%）の増加となっております。

増客増収の取組みとして、地下鉄を利用した周遊イベントや沿線施設と連携したイベントの実施など、沿線の魅力や地下鉄の利便性のPRを積極的に推進するとともに、広告の販売促進やお客ニーズに対応した新規店舗の誘致及び既存店舗区画の事業者公募など駅空間の有効活用、収益向上に取り組んでまいりました。

また、営業線改良事業では施設や車両等の健全性・安全性を確保するため、3000系車両の列車制御装置の更新、2000系車両の大規模改修、1000N系車両更新のための新造車両の製作及び土木構造物の改良工事等を実施するとともに、快適で質の高いサービスを提供するため、2000N系車両及び3000系車両の車内における防犯カメラの設置や中洲川端駅の空調設備の改善等に取り組みました。

この結果、当期の経営状況は、約55億円の純利益を計上しました。

今後とも経営戦略に定めた経営理念の下、安全・安心を最優先に、計画的かつ効率的な投資や増収対策に取り組んでまいります。

## 2 事業報告書

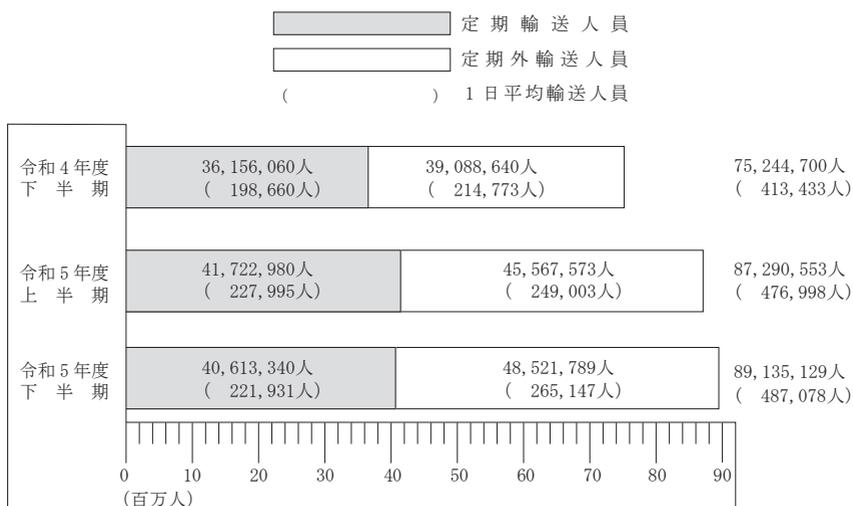
### (1) 営業区間及び営業キロ

空港線（1号線）	姪浜	～	福岡空港	13.1キロメートル
箱崎線（2号線）	中洲川端	～	貝塚	4.7キロメートル
七隈線（3号線）	橋本	～	博多	13.6キロメートル
			合計	31.4キロメートル

### (2) 在籍車両数

228両

### (3) 輸送人員



## 3 損益計算書（令和5年10月1日から令和6年3月31日まで）

(単位：千円)

区 分	金 額
総 収 益 (A)	20,575,184
営業収益	17,134,812
営業外収益	3,162,593
特別利益	277,779
総 費 用 (B)	15,030,352
営業費用	13,953,410
営業外費用	1,076,942
特別損失	0
差引損益(A)－(B)	5,544,832

#### 4 貸借対照表 (令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	353,626,927	固定負債	183,865,067
流動資産	18,645,359	流動負債	42,313,482
		繰延収益	95,848,756
		資本金	139,800,647
		剰余金	△ 89,555,666
計	372,272,286	計	372,272,286

#### 5 企業債及び一時借入金の現在高 (令和6年3月31日現在)

##### (1) 企業債の現在高

(単位：百万円)

令和5年度 上半期末現在高	令和5年度下半期		令和5年度末 現在高
	発行額	償還額	
212,785	7,141	12,180	207,746

##### (2) 一時借入金の現在高

なし

印刷所 松影堂印刷株式会社